

平成 27 年 2 月 1 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

誕生祝福式

司 会 : 赤塚敏郎兄
奏 楽 : 小島明美姉
おいのり : 持田樹理姉
さんび : 新聖歌 9「力の主を」1. 2. 4 節
使徒信条
聖書箇所 : ヨハネによる福音書 4 章 46~54 節 (P.142)
(朗読: 大神久美姉)
音 楽 : 倉知 契牧師
メッセージ: 「一粒万倍」 倉知 契牧師
賛美と献金 : 明日はどんな日か
頌 栄 : ハレルヤ(B♭)
祝 禱 :
報 告 :

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎いたします! 昼食も一緒に。
- ◇ 来週は月に一度の聖餐式。万難排して参加しましょう。
- ◇ 2/15(日)はバレンタイン・ミサ。特別賛美を皆様と一緒に! チョコパーティも楽しいです。チラシをお用いください。
- ◇ 2/22(日)午後教会総会。教会員のご出席願います。
- ◇ そして、3/22(日)に「あの感動を再び」の声にお応えして、ついに「持ち寄り音楽祭Part.6」を開催です(予定)。詳細はもうすぐ! 出演者募集も開始します。
- ◇ 世界の平和のため、この国の平和のために祈りましょう。
- ◇ 祝大 Aコース マタイ18章~21章 Bコース 出エジプト記9章~26章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成27年2月8日] [聖餐式]
[司会: 片岡洋一兄、いのり: 下岡晶子姉、聖書朗読: 持田樹理姉]
[ピアノ/リード: 米田 香姉] [アシスト: 大神 雄兄、武藤詩奈姉]
[献金: 赤塚孝子姉、岡田久枝姉] [受付: 太田昌子姉]
◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 倉知契牧師



大和の週報「石の枕」から引用です。

最近一般書で教えられた本は、明治大学教授の齋藤孝著『教養力』と『古典が最強のビジネスエリートをつくる』(毎日新聞社)。その一部紹介する。

先日、とある若い人の面接で「自分の精神を培うのに役立つ古典を三つ挙げてください」と聞きました。すると、「え? どういうことでしょうか」という返事の人が多かった。自分の精神を培ってくれた古典を三冊挙げられないようでは、ちょっと大人として恥しいですね。…齋藤氏は、その本の中で「たとえば、『聖書』は、西洋のキリスト教圏ならば誰もがその内容を知っています。」と語っておられる。その他、マックス・ヴェーバーのもの、内村鑑三、論語、学問のすすめ、新渡戸稲造、司馬遷、幸田露伴等々の作品を挙げ解説されているのだが、第一の話題として『聖書』を挙げておられるのには、喜びでした。

愛兄姉よ! 一般社会で「古典を三つ」といわれたら、まっ先に『聖書』を愛読書としていることは、一般教養人の認めていることを自覚してください。そこで是非、聖句をいくつか暗記して、堂々と語って下さい。今年の標語でもよし、I テサロニケ5の16-18。ヨハネ3の16。詩篇23篇。聖書で養われていることに誇りを持ち、心から感謝しましょう。(文: 主任牧師・大川従道)

以下はリビングライフ1月7日の黙想エッセイより。

ある金持ちの家の前に、彼が所有している小さな広場がありました。しかし、そこは金持ちの悩みの種でした。人々がしきりにそこにごみを捨てたからです。いくらごみを取り除き、「捨てないで!」と書いた立札を立てても無駄でした。しかしある日、田舎に住む父親が来て、スコップと鍬で広場を掘り起し、花の苗を植えました。まもなく花がきれいに咲き、蝶が飛びかうようになると、爽やかな香りが広がりました。すると何と、人々はそこにごみを捨てなくなりました。

私たちの心の庭も美しく手入れしなければなりません。人生の中心に花を植えましょう。み言葉という花、祈りという花、従順という花、誠実・忍耐・謙遜・柔和という花を植えましょう。そうすればイエス様が治めてくださいます。(文: カン・セデ)

今日で瀬戸に遣わされて97回目のメッセージ。毎週忍耐をもって聴いてくださる皆様に感謝一杯。でも一番恵まれているのはきっと私自身。真剣に聖書と向き合う中で養われています。どうぞ皆様の心のお庭にも「みことばの苗」を植えてください。春には大勢が集まる「瀬戸お花畑教会」になるでしょう!

* 2月15日「バレンタイン・ミサ」チラシを用いてお誘いください。お楽しみに!

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契

それはまさに、イエスが「お子さんは治りました」と言われた時刻とぴったり一致していました。このことがあって、役人と家族全員が、イエスをメシヤ(救い主)だと信じました。

ヨハネ四の五十三